



若者就労サポートネット について

NPO法人
文化学習協同ネットワーク

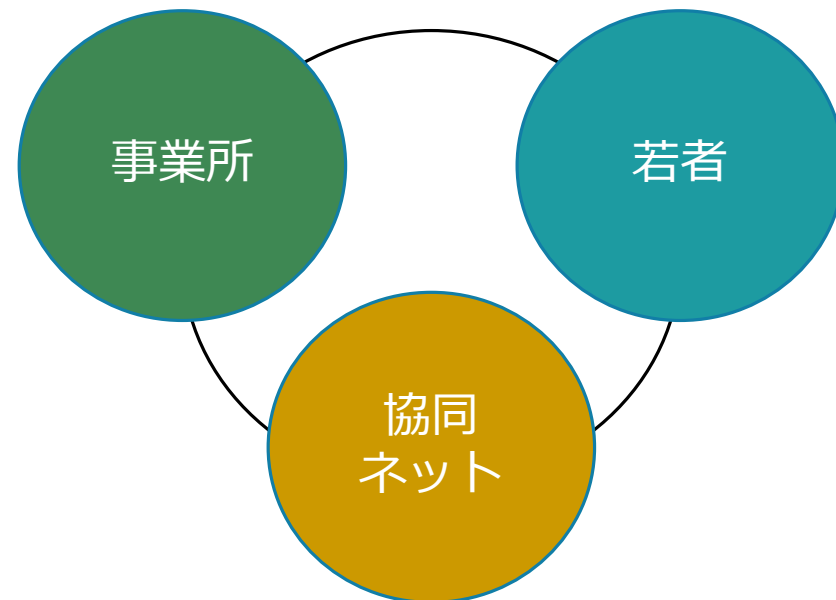


若者就労サポートネットとは |

ネットワークで若者を支える

NPO法人文化学習協同ネットワーク（以下「協同ネット」）と、事業所の皆様によるネットワークです。

就労の経験がなかったり、働く自信や見通しを持たずにいる若者たちが、社会との「よい出会い」を出来るよう、密な連携によりサポートします。



これまでの取り組み

- 事業所にて研修生として若者を受け入れていただく。
- 事業所の方に、仕事への理解を深めたい若者に向けたセミナー等をしていただく。
- 協同ネット支援員より事業所の皆様に、人材育成に関するセミナー等をさせていただく。
- 協同ネットにて会議（「若サポ会議」）を実施し、事業所の皆様と、協同ネット支援員とで情報共有などを行う。

その他の取り組みのご提案がありましたら、ぜひご相談ください。連携の形をご一緒に考えさせていただきます。

※連携いただいている事業所については、お名前をホームページ上に掲載させていただく予定です。

事業所 → 若者

研修実施・
仕事に関するセミナー実施

協同ネット ↔ 事業所

人材育成に関するセミナー・
会議にて情報共有 等

事業所での実習の実例

【実例1】 障害者介助の事業所（月二回、介助の研修）

最初は職員と一緒に介助を行い、その後ひとり立ちとともに有給雇用へ。現在は事業所の主力として働いている。

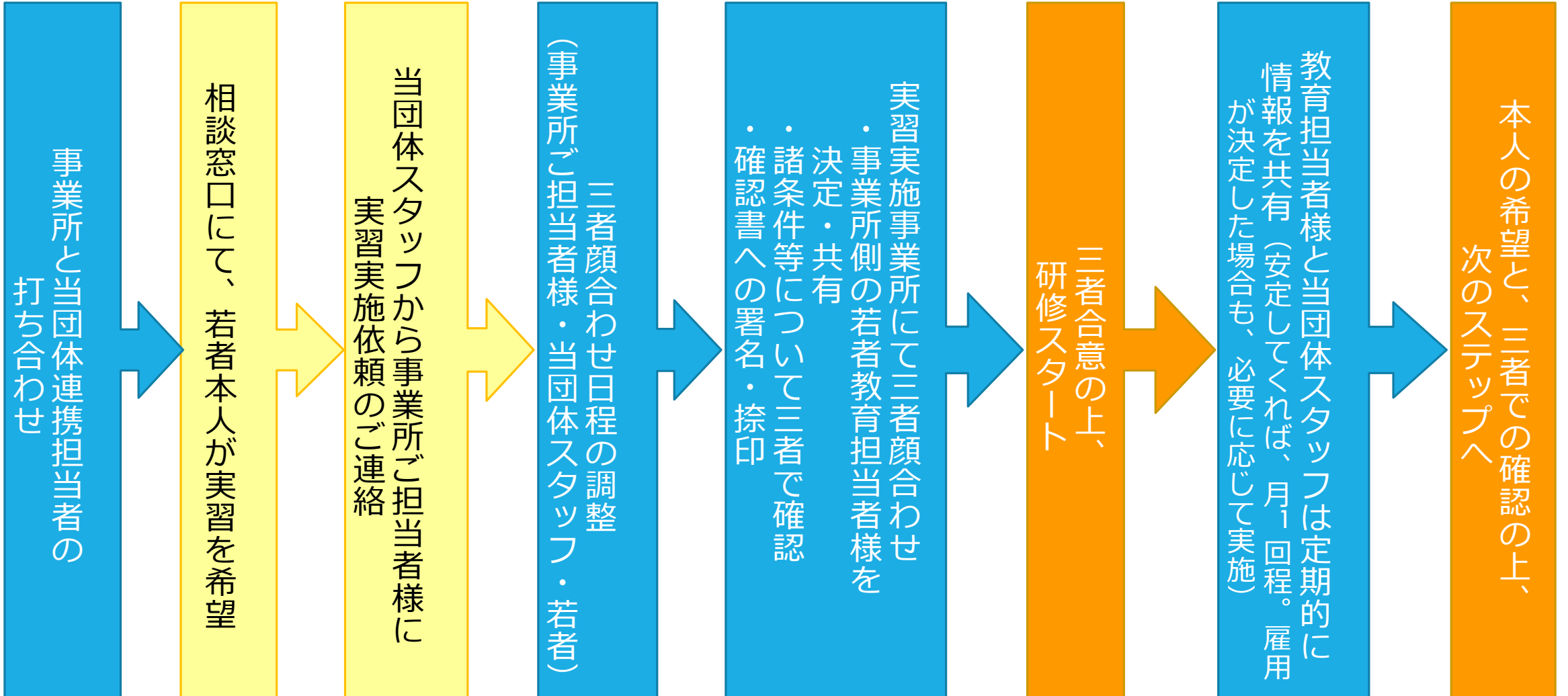
【実例2】 印刷会社（週二回、事務補助の研修）

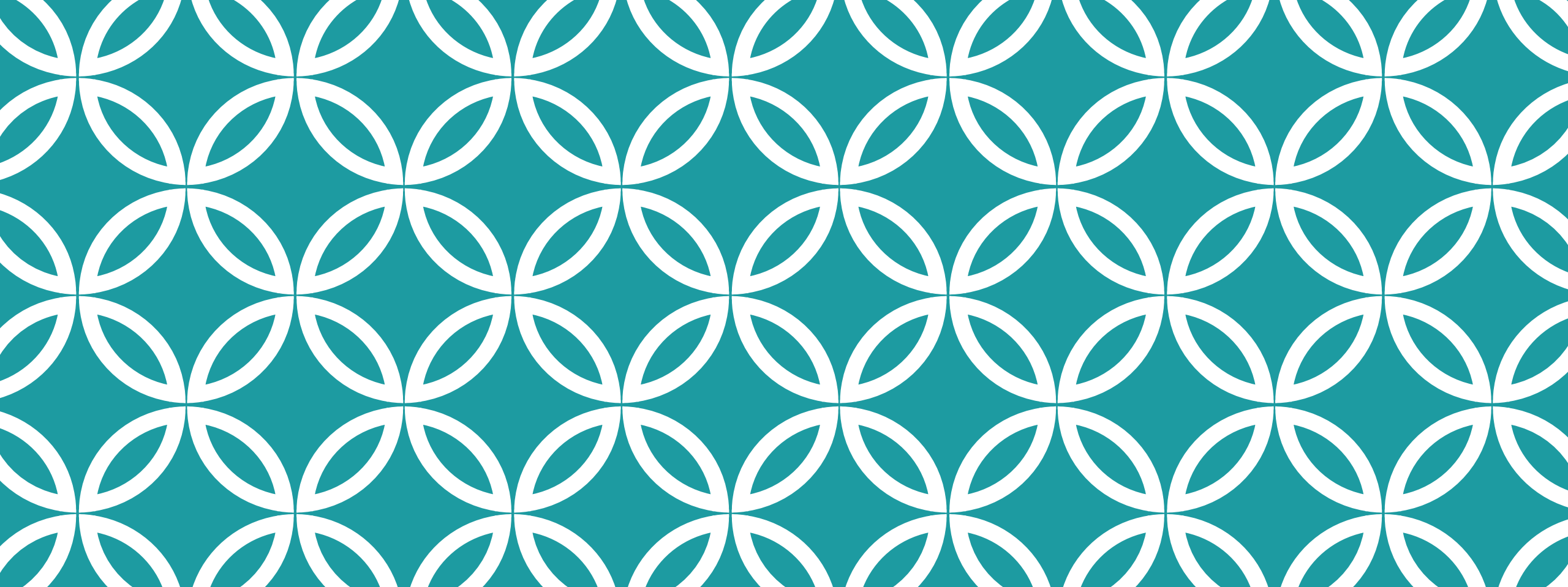
朝起きるのが苦手なことから最初は午後スタート。決まった時間に通うことを目標に、一年間継続。半年ほどで朝から通うことができるように。自信がついたことからアルバイト探しを始め、就労を決めるとともに実習終了。

【実例3】 印刷会社（週三回、DTPオペレーターの研修）

教えていただきながら仕事をすることで少しずつ技術も身に付けていき、さらに勉強してDTP関連の職業に就くことを希望。職業訓練への通所を決めるとともに実習終了。

実習の流れ





皆様にお願ひしたいこと |

多くの若者たちの抱える「しんどさ」

人によって状況や思いは本当にさまざま。しかし多くの若者は...

- 人間関係の中で**孤立**してきており、人と一緒に働くことに**不安**がある。
- 学校や職場での**過酷な経験**を経て、**深く傷つき**、安心して社会と関係を持ってない。
- 上記のような背景から、自分が人にどう思われているかが強く気になり、職場でも**否定されることを恐れて質問や相談、関係作りがうまく出来ず、余計に自信を失ってしまう。**

若者の「一歩」を支えるために

このような「しんどさ」は、「特別な」若者が持つものではなく、現代を生きる若者たちの多くに共通した思いです。

一方で、多くの若者は、**社会の中で人と関わりながら働いて生きていきたい**と強く願い、自分が受け入れられる場を自身で切り開こうと、誠実に葛藤しています。

そこで、皆様には、その「一歩」を支えるサポートとして、以下のお願いをしたいと思います。

みなさまへのお願い

「あたたかい視点を持って見ていてくれる人がいるから」

これは、ある若者が「なぜ仕事を続けられているの？」と聞かれたときの答えです。受け入れに当たっては、どうぞ配慮しすぎることなく、仕事をしていくために必要な指導をしてください。

ただし、その時前提として、**若者が「一人前」になるまでには時間がかかる**ことを、どうぞご理解ください。かれらの言動や思いを、**共感的にとらえていただく**ことが、かれらの支えになります。そのためにも、**ともに若者を育てるパートナー**として、私たちとつながりつづけていただきたいと思います。

また、担当の方だけでなく、可能な限り**事業所全体に、取り組みについてご理解を**広めてください。それによって、若者が担当の方とだけでなく、**職場そのものに安心してつながる**ことができ、継続的な取り組みにもつながります。

とともに「若者就労サポートネット」を 育ててください

若者の受け入れや連携に際し、事業所の皆様も戸惑われることがあるかもしれません。

そういった思いは是非、私たちに伝えて下さい。

連携のあり方についても、必要に応じて随時話し合い、ともに検討していきたいと思えます。

若者にとっても皆様にとっても**実りある研修を、ご一緒に作っていききたい**と願っています。